

■ 地域での取組を支援します

都教育委員会では、子供の生活習慣確立の取組を支援するために、ここで紹介した啓発資料の提供や、パネルの貸出を行っています。利用を希望の方は、生涯学習課までお問合せください。



羽村市立西小学校～入学説明会

■ 協力・協働、あれこれ

子供の生活習慣確立の取組が、小学校や児童館、保健所などで実施されています。また、「子どもの生活習慣確立東京都協議会」

※会員の独自活動や、都教育委員会とのジョイント事業など、協働の取組も広がっています。



福生市学童クラブ「さくらクラブ」：生活習慣〇×クイズ



協議会会員日本トイレ研究所「うんち教室」



協議会会員高島屋・明治乳業との協働「企画展～親子の食を考える&ミニ講座」



「子どもの生活習慣確立東京都協議会」とは

「子どもの生活習慣確立プロジェクト」の趣旨に賛同する企業、青少年育成団体、医師会・歯科医師会等の専門団体、NPOなどと行政が協働する仕組みとして「子どもの生活習慣確立東京都協議会」を設立し、普及啓発や会員の独自事業などに取組んでいます。“みんなに広げるために”や“協力・協働、あれこれ”の成果は、その多くが協議会会員との協働の成果です。（平成21年1月末現在 83団体）

「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」

都市化、核家族化、少子化及び地縁関係の希薄化などを背景として、子供の基本的な生活習慣の乱れや対人関係の希薄化、親の孤立化や子育て文化の未継承の問題などを背景として、子育てに自信がない親・教育に関心の薄い親などが現れてきています。

教育・福祉行政では様々な家庭教育支援・子育て支援施策を展開しています。しかし、子育て層の約8割が「子育てへの地域や社会の支援が不十分」と感じているという調査報告があり、地域や個人の実状を踏まえたきめ細やかな支援は不十分であると言えます。一方で、近年の医学・脳科学等の研究により乳幼児期からの発達の重要性が指摘されています。

これらの状況を踏まえ、平成19年12月に第7期東京都生涯学習審議会から「乳幼児期からの子供の発達を地域で支えるための教育環境づくりの在り方について」の答申が出され、都教育委員会では、乳幼児期の子供を持つ親・保護者への家庭教育支援施策として平成20年度から「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」の取組を開始しました。

趣 旨

子育てに関心の薄い層を含めたすべての親・保護者を対象に、乳幼児期からの子供の教育の重要性を伝えるための効果的な方法を開発するとともに、地域において乳幼児と親・保護者を支援する試行的取組を進めます。

事 業

1 全都に普及させる取組

- (1) 保護者向け啓発資料
- (2) オリジナルウェブサイト・携帯電話サイトの開設
- (3) 広報ポスターによる社会全体への啓発

2 乳幼児期からの子供の教育支援を地域に定着させる取組

- (1) 地域における乳幼児と親の社会的つながりを促す試行的取組
- (2) 地域の担い手の養成と指導資料の作成



稲城市での試行的取組「子育てサポーターの日」の活動